

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

# Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和5年6月26日  
NO.3 文責 菊谷

キャリア

## 「水はどこから」～帯広市水道出前講座～

6月15日（木）帯広市上下水道部から講師を招いて、4年生の「水道出前講座」を行いました。

課題対応能力の育成…自分たちの生活に直結する課題を見つけ、できることを考え実践する力を育みま

4年生は、昨年度校舍裏を流れる機関庫の川で、体験活動や調査活動をしながら、機関庫の川はどんな川なのか。清流なのか。10年後の機関庫の川を想像して、自分にできることを考える学習をしてきました。

この日は、社会科の学習で、機関庫の川が流れ込む札内川の水が、自分たちの暮らしを支えていることを実感し、自分たちの生活の中でできることを考えていくことを目指していました。

稲田浄水場の職員の方が、「札内川は、8回もきれいな水（清流）日本一に選ばれたんだよ。」  
「わたしたちの飲んでいる水はもとがきれいなので、殺菌するための薬の量は少ないから、おいしい水なんだよ。」と、校区内に稲田浄水場があることや、そこから水が供給されていることを教えてくださいました。

水源の一部が校内を流れ、近くに浄水場があるなど、本校の児童は、自分たちの問題として考えやすい環境にあり、恵まれていると思います。今年の4年生もこれまでの学習と自分たちの生活とをしっかりと関連付けながら真剣に話を聞くことができました。美味しい帯広の水に誇りをもち、大切に守っていきたいという子どもたちの様子が伺える感想を紹介します。



○台所に天ぷらの油を流すと、下水道管の中で固まってつまってしまうことがわかり、お母さんに教えようと思いました。

○学校や家の水道から出る水は、どこから来ているのかいつも気になっていました。知れてよかったです。

○大人になっても忘れずに、いろんな所で水を大切にしていきたいです。

○世界中で、水道水が飲める国は15か国しかないことがわかりました。飲める水にしてくれている人に感謝しようと思いました。